

南あわじ市 平成 21 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

整理番号 645

事業名	農業後継者対策事業(都市交流促進)		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	農業振興部	農林振興課		款	農林水産業費・6款
電話	0799 -43-5025			項	農業費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務			目	農業振興費・3目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	職__食__づくり__夢あふれ__働く場を生み出すまちづくり__			
	まちづくりの目標	ふやさんか__食づくりの担い手【農漁業】			
	施策目標	食づくりの源である豊穡の大地と海を守り、農業や漁業に携わる市民(若者、女性、元気な高齢者層など)を育てる			
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託	負担金補助	

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に) 農業に関心のある大学生 対象人数(人) 60 意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 関西圏の農業に関心のある大学生等を市内の農業家に受け入れてもらい、農業体験研修を実施させることにより、農業教育の充実・振興を図るとともに、市内農業の振興を図り、次世代の後継者作りに資する。
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 関西圏の大学生を対象に農村体験の募集を行い、体験を通して南あわじ市の農業の課題・今後のビジョンをレポートしてもらう。
	背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など) 現在、当市においても今後の農業を担う農業後継者不足が深刻な問題となっており、このままでは、産地の維持が難しくなると予想されるため、後継者の育成・確保が喫緊の課題となっている。
	事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 民間・その他 ()
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし	
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input checked="" type="checkbox"/> 新市から	

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

事業に対する 目標の設定	指標名	農業を体験する大学生の延べ日数					指標単位
							日
	指標説明 (指標算出 方法等)	受入計画日数					
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
	目標値		1	1	1	0	
	実績値		1	0			
	達成度 (%)	-	100.0	0.0	-	-	
目標値設定 の考え方							
資源配分 (インプット)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
	直接事業費 (千円)	0	182	0	267	0	
	消耗品、食糧費、車借上料等	0	182	0	267		
	財源 (千円)						
	国						
	県						
	起債						
	その他						
	一般財源[A]	0	182	0	267	0	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0	0	
	平均人件費(1日当り)	29.9	30.1	27.9	28.2	28.2	
	事業量1(事業に要した日数)						
事業量2(事業に要した人数)							
年間経費([A]+[B])	0	182	0	267	0		
「目的」対象人数1人当り経費 (円)	0.0	3,033.3	0.0	4,450.0	0.0		
経費に関する 補足説明	平成20年度は、受入学生なし。						

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

	単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
達成度	目標達成度	%	-	100.0	0.0	-	-
	(事業目標の達成度分析、問題点・課題などを記入。) 平成21年度は、申込みがなかったため実績があげられなかった。						自己評価 (5点評価)
							1
有効性	(住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 大学生が、南あわじ市の特産レタスの収穫を手伝い、地元農家との交流を深める中で、現在の若者気質や地域農業の後継者づくりについて情報交換を行うことが、特に有意義である。						自己評価 (5点評価)
効率性	事業単価	円	0.0	3,033.3	0.0	4,450.0	0.0
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 学生の往復の交通費に相当する経費を負担している。						自己評価 (5点評価)
							3
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低			
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 高齢化が進む農業の中で、若者の農業に関する考え方を知らるにあたって非常に効果があると見込まれ、若者に対して南あわじ市の農業をPRする機会にもなっている。						自己評価 (5点評価)
							3
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 現在の若者気質や高齢化が進む南あわじ市の農業について情報交換を行うことで有意義な事業であるが、平成20年度、21年度の実績がなく、事業を見直す必要がある。						<div data-bbox="821 1541 1388 2116" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> </div>

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成22年度にできる改善・改革	平成23年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	<p>島外の農業高校の学生との宿泊体験交流等を実施していましたが、実績等を勘案して、農業後継者対策を地元の小学生に重点を置いた取り組みに移す。</p>	<p>同左。</p>
(現状維持以外の改善方法)	<p>地元小学生を対象にした「いきいき農業体験事業」に重点を置き、食育と農業作業体験を通じて、農業が自然環境に大きく関与することや農作業の楽しみ等を体感してもらう。</p>	
改善によって期待される効果	<p>効果(アウトカム)面</p> <p>地元小学生に農作業の楽しみ等を体感してもらうことで、将来的に農業後継者やUターン就農してもらえることが期待できる。</p>	<p>効果(アウトカム)面</p>
	<p>コスト面</p> <p>休止した事業費を「いきいき農業体験事業」に重点配分できる。</p>	<p>コスト面</p>
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>Iターン就農が期待できる若者に対して南あわじ市の農業をPRする機会がなくなる。</p>	